

令和2年度 第1回下関市市民協働参画審議会 議事概要

- 1 開催日時 令和2年6月30日（火）14時から15時45分まで
- 2 開催場所 下関市商工会議所3階会議室
下関市南部町21-19
- 3 出席者 下関市市民協働参画審議会委員 15名（3名欠席）

4 審議会概要

（1）委嘱状交付

市長から審議会委員へ委嘱状を交付

（2）市長挨拶

（3）委員自己紹介

（4）会長、副会長選任

（5）議事

① 助成事業審査部会委員の選任について

事務局から、5つの区分（公募委員、市民活動団体関係者、事業者等で構成する団体の関係者、学識経験者、市職員）毎に各1名選出された候補者を、会長が助成事業審査部会委員に指名する方法の提案があり、本提案方法により、助成事業審査部会委員を選出することが採用された。

出席委員の協議により候補者が選出され、下関市市民協働参画審議会運営規則第4条第2項の規定により、会長が当該5名を助成事業審査部会委員に指名した。

② 市民意識調査の報告について

(事務局) 市民の現状、市民活動団体の現状、しものせき市民活動センターの現状について説明

③ 第4次市民活動促進基本計画について

(事務局) 市民活動促進基本計画の概要及び策定までのスケジュールについて説明

(A 委員) 次回審議会に先行して第3次市民活動促進基本計画本編の送付をお願いします。

④ パートナーシップ年次報告について

(事務局) パートナーシップ年次報告の概要について説明

(6) その他

(A 委員) 今月の市報の記事にあった動物愛護関連の記事はインパクトがあった。動物愛護団体からは高評価だったと伺っている。については、市報に様々な市民活動団体の情報を掲載してほしい。

(B 委員) 市報というのは一番よく読まれている広報物であり、市民意識調査の情報収集の方法という項目でも結果として表れている。

若年層はネットから情報収集できるが、高齢者にとっては市報がとても重要である。有効な情報伝達媒体として、より内容を充実して欲しい。

(会長) ご意見を踏まえて、第4次の計画策定に向けて取り組んでいきましょう。

(C 委員) 現在の市民活動センターは障害者にとって利用しづらい。社会福祉協議会は老朽化が進んでおり、多目的トイレはアコーディオンカーテンとなっている。

様々な団体があつて、様々な人がいる。誰もが利用しやすい環境づくりに努めてほしい。市民が集い、市民が利用する場は、様々な方がいることを踏まえたうえで計画すべきものである。

(会長) 活動の場のバリアフリー化について、利用しやすい場となるよう、第4次計画において触れる項目があればぜひ反映させていけたらと考える。

以上で全ての予定を終了し、閉会した。